

第3章 外部評価委員会の講評

1. 外部評価委員会の講評

外部評価委員会における講評は以下のとおりである。

なお、審議の詳細については本書の参考資料－1に議事録を掲載している。

平成25年度 土木研究所外部評価委員会 全体講評

努力して研究が続けられていること、4つの分科会のそれぞれのテーマが非常に適切に選ばれていることなど、非常に評価は高い。

土木研究所のミッションは、社会基盤整備・国土整備、それからその管理、社会基盤の管理の技術をしっかりリードしていくことが重要である。社会基盤の管理を通じどのように国土を管理すべきかについて、きちんとした問題意識と理念を持って取り組んで欲しい。

【個別課題間の連携】

各プロジェクト研究のテーマはしっかりと記述されているが、個別課題相互の関係について十分に議論され、総合化されているか疑問であり、個別の研究の羅列的な報告にしかなく、個別課題をこなせば事足りると思っっているのではないか。

【社会基盤管理技術】

特に社会基盤管理については、技術の次世代を見渡した技術をつくっていくという認識のもとに学術論文を書き、それによって裏付けされたマニュアルを作成するとともに、個別の技術を総合化してどのように社会基盤管理するのかというところまで検討して欲しい。

【技術マニュアル】

技術マニュアルの作成にあたっては、社会基盤の管理を通じどのような国土管理をしていくのかまで記述して欲しいし、マニュアルの使い方やその仕組みまで検討していただきたい。マニュアル化される知見・技術については、学会などでの成果公表などによりオーソライズされることが必要と考える。

2. 土木研究所の対応

土木研究所外部評価委員会で頂いた講評を踏まえ、個別課題間の連携や社会基盤管理技術等について所内で十分に議論を行うとともに、今後も実施計画に従って鋭意研究を進め、社会的ニーズに対応できる研究成果を出すよう努力していきたい。

